

# 財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 越生町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,778	893	179	2,851

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	3,740	3,580	160	160	30	2,798	
越生町・毛呂山町外4組合公平委員会特別会計	1	0	0	0	0	0	
農業集落排水事業特別会計	61	58	3	3	45	0	
一般会計等	3,757	3,593	164	164		2,798	

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰見込額	備考
水道事業会計	299	287	12	460	5	307		6 法適用
毛呂山・越生町計画事業上野原特定土地区画整理事業特別会計	17	7	9	9	0	0		0
国民健康保険特別会計	1,490	1,406	84	84	53	0		0
老人保健特別会計	1,083	1,069	14	14	89	0		0
介護保険事業特別会計	692	658	34	34	101	0		0
公営企業会計等 計				601		307		6

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。  
 2. 法適用企業に係るもの以外については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(～)で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰見込額	備考
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合 一般会計	1,810	1,743	67	67	698	9,714	1,457	
坂戸地区衛生組合 一般会計	419	393	26	26	0	254	17	
埼玉県市町村総合事務組合 一般会計	42,475	41,918	557	557	5,890	0	0	
埼玉県市町村総合事務組合 交通災害共済事業特別会計	478	396	82	82	0	0	0	
埼玉西部環境保全組合 一般会計	2,267	2,238	29	29	0	1,688	179	
西入間消防組合 一般会計	1,120	1,105	15	15	22	68	15	
広域静苑組合 一般会計	106	91	15	15	0	19	2	
彩の園さいたまづくり広域連合 一般会計	467	451	16	16	48	0	0	
埼玉県後期高齢者医療広域連合 一般会計	2,543	2,383	160	160	0	0	0	
一部事務組合等 計				967		11,743	1,670	

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
越生町土地開発公社	1	487	3	0	0	0	0	0	
越生特産物加工所	5	86	13	0	0	0	0	0	
ゆうパークおごせ	0	42	5	0	0	0	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			21	0	0	0	0	0	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		259	
減債基金		1	
その他充当可能基金		657	
充当可能基金計		916	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	7.44	5.76	1.68	15.00	20.00	越生町水道事業会計		156.5	
連結実質赤字比率		26.86		20.00	40.00	毛呂山・越生町計画事業上野原特定土地区画整理事業特別会計		100.0	
実質公債費比率	12.1	13.9	1.8	25.0	35.0				
将来負担比率		74.7		350.0					
財政力指数	0.59	0.60	0.01						
経常収支比率	91.5	88.8	2.7						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。